

Moog MOTHER-32 クイック・スタート

1. VCO (ボルテージ・コントロールド・オシレーター)

- a. **FREQUENCY**: オシレーターのピッチをノブのセンター位置から上下1オクターブの範囲で調整します。
- b. **VCO WAVE**: オシレーターの波形選択です(パルス波またはノコギリ波)。
- c. **PULSE WIDTH**: パルス波のパルス幅を調整します。
- d. **VCO MOD SOURCE**: VCOのモジュレーション元をエンベロープ、LFO、または外部モジュレーションに選択します。
- e. **VCO MOD AMOUNT**: VCOモジュレーションの深さを調整します。
- f. **VCO MOD DESTINATION**: VCOのモジュレーション先をピッチ、またはパルス・ウィズムのどちらかに切り替えます。

2. GLIDE

- a. **GLIDE**: 前に演奏したピッチから次に弾いたピッチに滑らかに変化する時間を調整します。

3. LFO (ロー・フリクエンシー・オシレーター)

- a. **LFO RATE**: LFOの周期を0.1Hz~350Hzの範囲で調整します(最大600Hz)。
- b. **LFO WAVE**: LFOの波形を切り替えます(矩形波または三角波)。

4. MIX (ボルテージ・コントロールド)

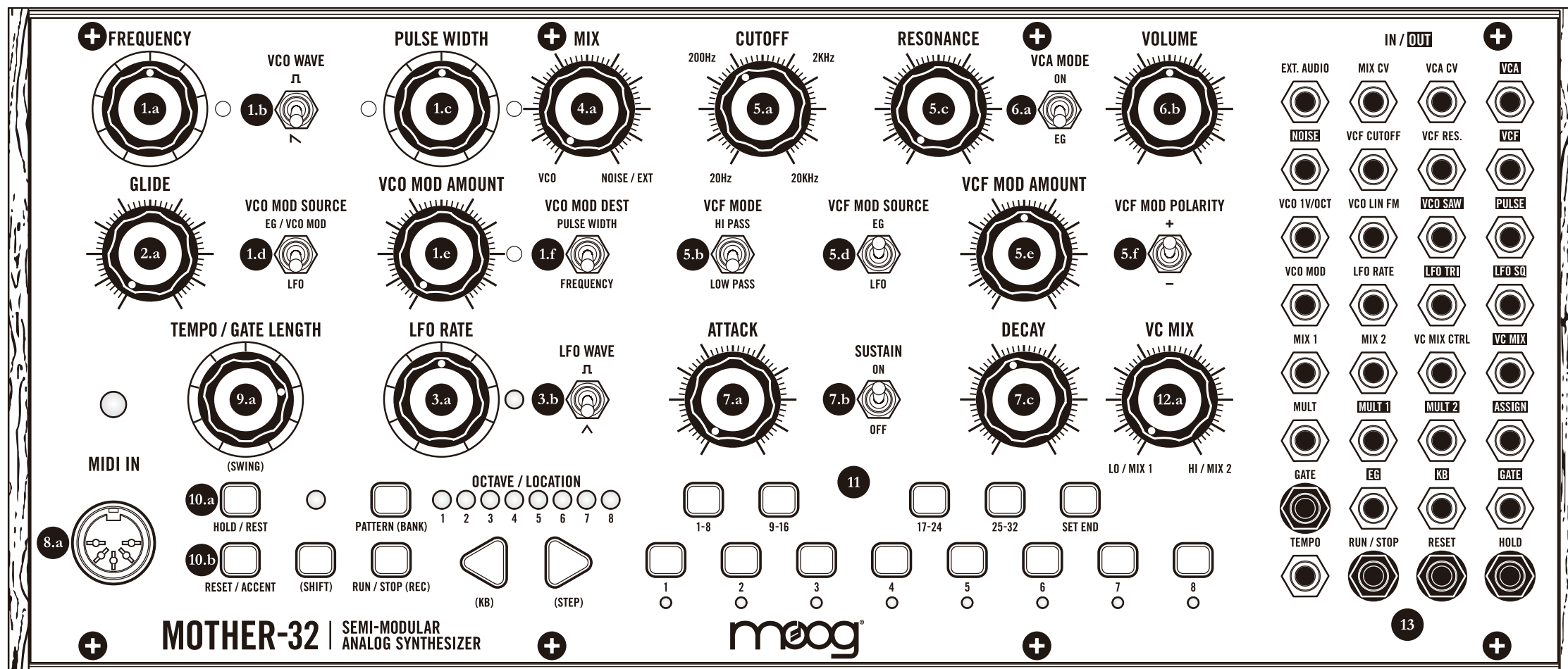
- a. **MIX**: VCOと内蔵ホワイト・ノイズ(または外部音声入力)のミックス・バランスを調整します。

5. VCF (ボルテージ・コントロールド・フィルター)

- a. **CUTOFF**: フィルターをかけて低域または高域成分を弱めるポイント(カットオフ・フリクエンシー)を調整します。
- b. **VCF MODE**: レゾナンス付きローパス、またはレゾナンスなしハイパス・フィルターのどちらかに選択します。
- c. **RESONANCE**: カットオフ・フリクエンシー付近の帯域を強調させる量を調整します。ノブの位置が3時の位置を超えるとフィルターが自己発振を始めます。
- d. **VCF MOD SOURCE**: カットオフにかかるモジュレーション元を選択します(エンベロープまたはLFO)。
- e. **VCF MOD AMOUNT**: VCFモジュレーションの深さを調整します。
- f. **VCF MOD POLARITY**: VCFモジュレーションの方向を選択します(プラスまたはマイナス)。

6. VCA (ボルテージ・コントロールド・アンプリファイアー)

- a. **VCA MODE**: VCAをエンベロープでコントロールするか、またはON(常時開放)にするかを選択します。
 - b. **VOLUME**: MOTHER-32全体の音量を調整します。
- ## 7. EG (エンベロープ・ジェネレーター)
- a. **ATTACK**: 発音と同時にスタートし、レベルがゼロから最大になるまでの時間を調整します。
 - b. **SUSTAIN ON/OFF**: 「ON」の場合、キーボードを押している間はEGの最大レベルを維持します。「OFF」の場合、アタックの段階が終了するとすぐにディケイの段階に入ります。
 - c. **DECAY**: EGのレベルがゼロになるまでの時間を調整します。



8. MIDI

- a. **MIDI IN**: 外部MIDI機器によるコントロール、MIDIクロックによる同期、MIDI→CV変換ができます。MIDIメッセージを受信すると(MIDI LED)が点滅します。

9. TEMPO / GATE LENGTH

- a. **TEMPO / GATE LENGTH**: パターンの再生中は、このノブでテンポが変化します。パターン作成中の場合は、このノブでそのステップの音の長さを調整できます。また、テンポに従ってLEDが点滅します。

10. HOLD & RESET

- a. **HOLD**: シーケンサーの再生中にこのボタンを押すと、その時のステップを繰り返します。
- b. **RESET**: パターンのステップ1に戻す時に使用します。

11. シーケンサー

内蔵の32ステップ・シーケンサーには64種類のパターンをメモリーでき、キーボード(KB)とステップ・エディット(STEP)の2モードがあります。KBモードではキーボードを使って次の手順でパターンを素早く入力できます:

1. (SHIFT) ボタンを押しながら (REC) ボタンを押します。
2. キーボードで32音までのパターンを入力します。
3. (RUN/STOP) ボタンを押してレコーディング・モードを解除します。
4. (RUN/STOP) ボタンをもう1度押しすとパターンが再生します。演奏するステップに合わせて1~8のステップLEDが点灯します。

11. パターンを初期化する

1. (SHIFT)、(PATTERN)、(RESET)の各ボタンを同時に押します。
注意: この方法ではセーブ済みのパターン・データは消去されません。

11. パターンをセーブする

1. (SHIFT) ボタンを押しながら (REC) ボタンを1秒間長押しします(すると選択していたパターンに対応する(OCTAVE/LOCATION)LEDが高速点滅します)。
2. 左右の矢印キーを使用してセーブしたい場所を選択します。
3. (SHIFT) を押しながら (REC) ボタンを押すとセーブを実行します。
注意: セーブを実行せずにセーブ・モードを解除するには (RUN/STOP) ボタンを押します。

11. セーブ済みのパターンを選択する

1. (PATTERN) ボタンを押しながら...
2. 1~8のステップ・ボタンを押します。

12. VC MIX (DC対応)

- a. **VC MIX**: ボルテージ・コントロールド・ミキサーでは、2つのCV等コントロール信号をミックスし、より複雑な信号にして別のセクションへパッチしてモジュレーションさせることができます。この機能を使用するにはパッチ・ケーブルが必要となります。

13. 32ポイント・モジュラー・パッチベイ

パッチベイ: 18入力/14出力のパッチベイを使用すれば、さらに発展的な音作りや、モジュラー・シンセとの連携も可能となります。色々に接続してその効果を実験してみましょう。

! MOTHER-32 ユーザーズ・マニュアル

マニュアル: パッチベイやシーケンサー、各種機能の詳細につきましては、付属のユーザーズ・マニュアルをご参照ください。